

溝上 慎一の教育論(動画チャンネル) No195

新著の紹介(コーナー)

『自閉症のある子どもへの言語・コミュニケーション
の指導と支援』 藤野博先生(東京学芸大学教授)

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。
公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています

(ご紹介)



藤野 博
ふじのひろし

東京学芸大学大学院教育学研究科
(教職大学院) 教授

東北大学大学院教育学研究科博士前期課程修了。東北大学より博士(教育学)。

川崎医療福祉大学専任講師、東京学芸大学専任講師、同大学助教授・准教授を経て、現職。

言語聴覚士。公認心理師。臨床発達心理士スーパーバイザー。特別支援教育士スーパーバイザー

自閉スペクトラム症を主とする発達障害の子どもたちの社会的認知とコミュニケーションの発達、アセスメントおよび支援方法の研究。余暇活動を通じたコミュニケーション支援。



藤野博著『自閉症のある子どもへの言語・コミュニケーションの指導と支援』明治図書（2023年6月新刊）

第1章 自閉症のある子どものことばコミュニケーション・認知

自閉症とは？

ことばとコミュニケーションの問題

ことばとコミュニケーションの理論

こだわりと特別な興味

感覚の特徴

共同注意の問題

心の理論の問題

語りーナラティブーの特徴

弱い中枢性統合

実行機能の問題

他

第2章 自閉症のある子どものことばとコミュニケーションの支援

第3章 教室の中の自閉症のある子どもたち



2023年6月
刊行予定！

No169

特別支援教育の 学術的最前線

自閉スペクトラム症を多様なスタイル
の1つと見なす

藤野博先生(東京学芸大学教授)



それではご覧ください

自閉症のある子どもへの言語・ コミュニケーションの指導と支援

東京学芸大学教職大学院

藤野 博



自閉症支援のために、

専門的な知見

世界一
やさしく
解説



相互理解を促し歩み寄るために。

藤野 博『自閉症のある子どもへの言語・コミュニケーションの指導と支援』(明治図書)

はじめに

国連が日本政府にインクルーシブ教育の実現に向けた努力をするよう勧告したことは報道によってご存知の方も多いかと思います。インクルーシブ教育とは、障害のある子もない子も同じ場で共に学ぶことを基本とする教育システムのことです。

だれもが平等に教育を受ける権利をもつことはいうまでもありません。しかし、単に同じ教室で、同じ授業を一緒に受けられれば平等になるのかというと、事はそう簡単ではありません。通常の発達をしている子どもたちとは物事の見方、ことばの受け取り方、学び方のスタイルなどが異なる子どもたちがいるからです。

第1章 自閉症のある子どものことば・コミュニケーション・認知

自閉症とは？

ことばとコミュニケーションの問題

ことばとコミュニケーションの理論

こだわりと特別な興味

感覚の特徴

共同注意の問題

心の理論の問題

語り—ナラティブ—の特徴

弱い中枢性統合

実行機能の問題

学習の問題

共感と感情の理解

道徳判断の特徴

読書の傾向

第2章 自閉症のある子どものことばとコミュニケーションの支援

自閉症のある子どもへの支援の原則

構造化

ソーシャルストーリー

ことばの支援1 声の大きさ

ことばの支援2 会話

ことばの支援3 意図の理解

ことばの支援4 枠組みと視覚情報の活用

感情理解の支援

感情のコントロール

考えを整理する

援助要請

自己理解

余暇とサードプレイス

インクルーシブ教育とICTの活用

第3章 教室の中の自閉症のある子どもたち

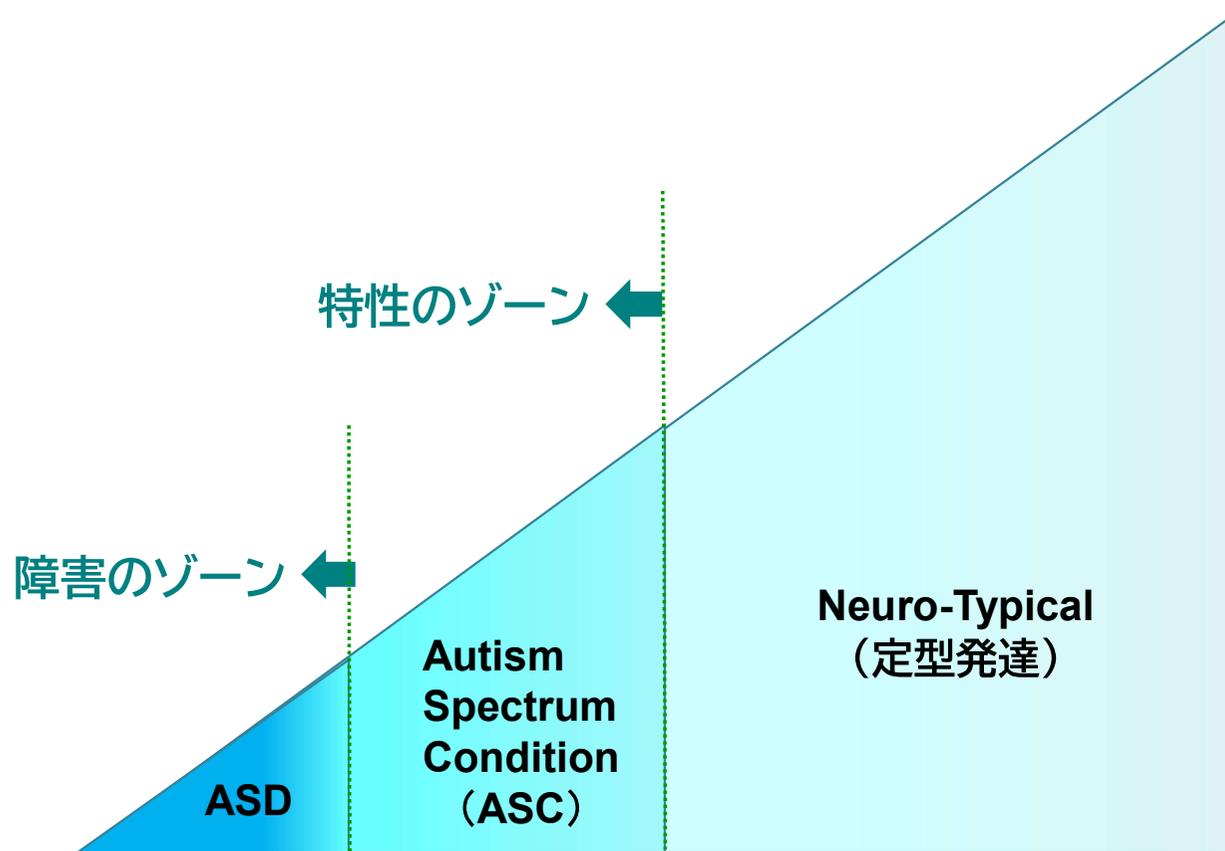
- エピソード1 みんなと楽しく話がしたい
- エピソード2 友達や先生の応援があれば大丈夫
- エピソード3 なぜ自分だけ静かにしないといけないの？
- エピソード4 人の心に気づき始めたら
- エピソード5 友達と仲良くするには
- エピソード6 クラスメイトに助けてもらおう
- エピソード7 大人の女性のマナーを学ぶ
- エピソード8 みんなが心地よく過ごせるクラスにするために

自閉スペクトラム症 (Autism Spectrum Disorder, ASD)

- 社会的コミュニケーションおよび対人的相互反応における持続的な欠陥
- 行動, 興味, または活動の限定された反復的な様式

American Psychiatric Association(著)高橋三郎・大野 裕(監訳)
「DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル」(医学書院)

自閉症の特性は連続体(スペクトラム)



ASDの会話の特徴

- 話すときに聞き手の注意を得ず, 独り言のように誰に話しかけているかわかりにくい
- 一方的に質問をし続けたり, 相手にすでに質問し答えてもらったことを繰り返し質問したりする
- 相手の話に合わせて話題を維持することが難しく, 相手がまだ話しているのに割り込み, 自分が話したいことを一方的に話す
- 相手の話を聞いていない
- 相手の聞き返しにわかりやすく言い直すことができない

ASDのコミュニケーションの問題

■ 意図理解

- 言葉の文字通りの意味だけでなく、その背後にある意図を把握することの困難

■ 情報伝達

- 相手の知識に応じた質問や話題の提示・応答の困難

■ 丁寧さの調節

- 場面や相手に応じて話し方を変えることの困難

ASDの認知と感覚の特徴

- **心の理論の問題**

- 他者の視点に立つことや意図を把握することの困難

- **中枢性統合の弱さ**

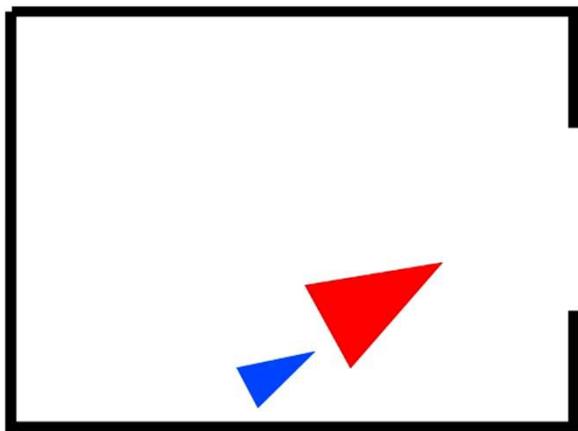
- 全体よりも部分に注意が向きやすい認知の傾向
⇒ 「木を見て森を見ない」

- **感覚の過敏や鈍麻**

心の理論 (Theory of Mind)

- 行動に心の状態を帰属させる機能を「心理化(メンタライジング)」という
(Frith, 1989)
- 「心の理論」は、心理化の基盤として考えられている認知のシステム
- 誤信念課題と呼ばれるテストでアセスメントを行う

どう見えますか？



定型発達群

<小2:語い年齢 8歳5か月>

赤は四角の中から出られたけど、青は出られなかったから、赤が押してあげてた。

<小4:語い年齢 9歳11か月>

小さい三角がなかなか出れなくて、大きい三角が励まして、おいでよ早く、
と言ってるように見えた。

ASD群

<小3:語い年齢 10歳11か月>

一回, 赤が枠から出て, そして戻ってきて青を押して, 青が 4回くらい, くるくる回って, 戻ってきた。

誤信念課題の例

【サリーとアン課題】

サリーはビー玉を取って自分のかごに入れました。
その後、部屋を出て散歩に行きました。
アンはかごからビー玉を取り出し、箱に入れました。
サリーは部屋に戻り、ビー玉で遊ぼうと思いました。

サリーはどこでビー玉を探すでしょう？

Baron-Cohen,S.,Leslie,M.,&Frith,U. (1985) Does the autistic child have a 'theory of mind'? *Cognition*, 21, 37-46.

ASD児の心の理論の獲得における問題

- 定型発達児は4歳頃に誤信念課題を通過する (Wimmer&Perner, 1983)
- ASDの子どもは知的発達の遅れがなくても、定型発達児と同じ時期に誤信念課題を通過しない (Baron-Cohen, 1989)

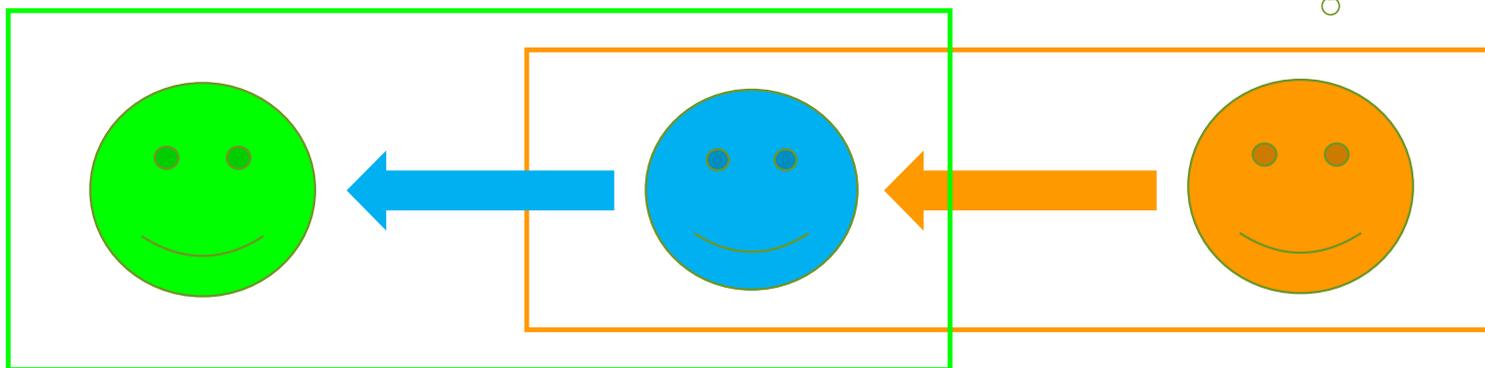
学校でのあるエピソード

- A君は給食当番の時に、仲の良いB君におかずを多めに盛った
- B君は他児からうらやましがられ、非難のことばを浴び、気まずい雰囲気になってしまった

たくさん盛ってあげたら、B君はきっと喜ぶだろうな

A君の気持ちはうれしいけど、他の子はいやな気持ちになるだろうな

なんでB君だけ、たくさんもらうの？ズルい！



A君

B君

他児

善意からのサービス ←

感謝の気持ち

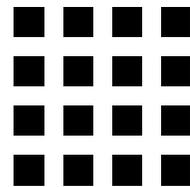
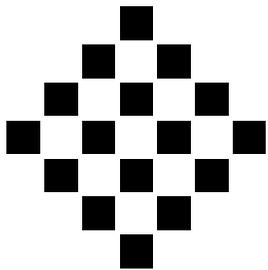
ありがた迷惑

←

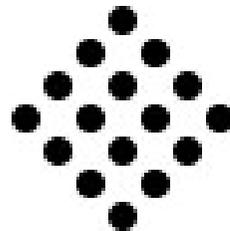
羨望・非難の眼差し

左の形と同じものはどっち？

部分に注目すると



全体に注目すると



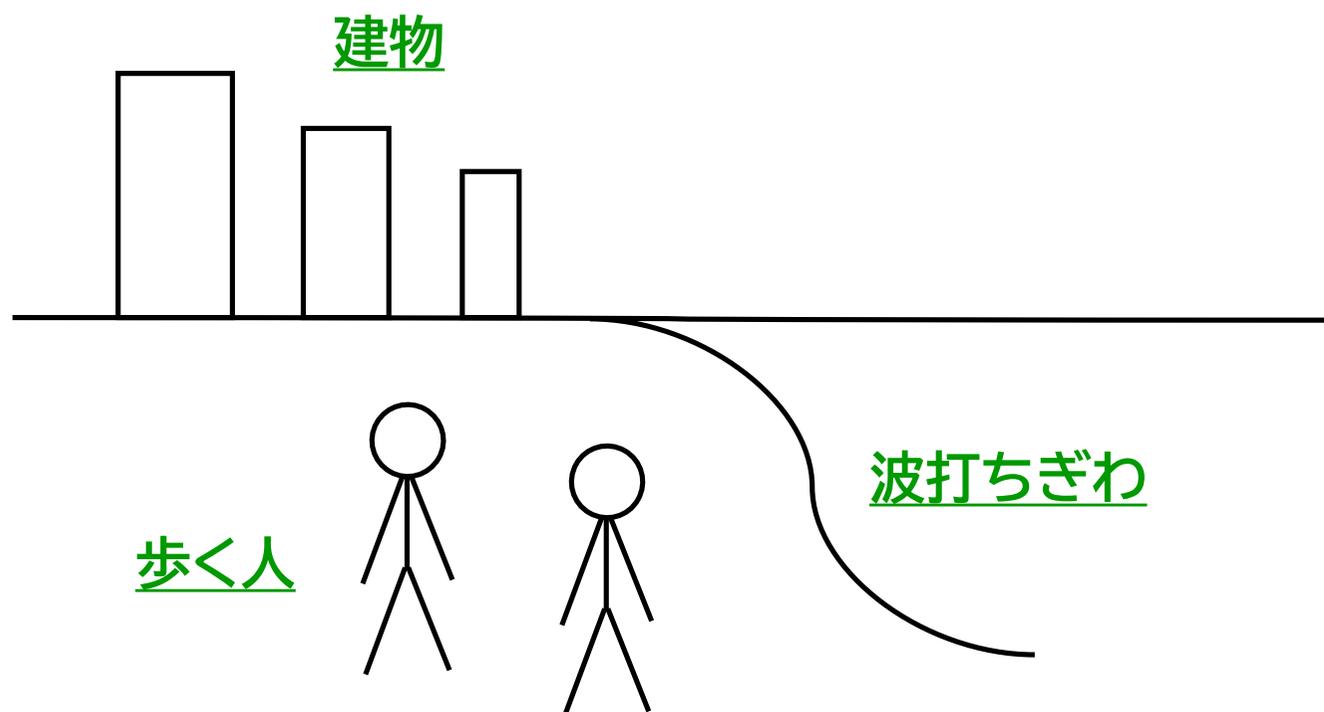
Scherf, S. et al. (2008) Missing the Big Picture: Impaired Development of Global Shape Processing in Autism. *Autism Research*, 1, 114–129.

この写真を見てください



いま見た写真を思い出し、
絵に描いてみてください

たぶん、こんな絵ではないでしょうか？



これから小学校に入学する子どもに、「学校ってどんなところ？」と質問されたら、何と答えますか？

- 勉強する
- 友だちがいる
- 先生がいる

の3点くらいではないでしょうか？

しかし, ASDの子はこのような説明では納得できないことがあるようです…

小学校はふしぎなところだった。お勉強をしにいくところだと聞いていたのに、お勉強以外のことがどっさりあったから。

「あさのかい」があったり「きゅうけい」があったり「きゅうしょく」があったり「はみがきしどう」があったり「かえりのかい」があったり「おとうぼん」があったりする。

・・・体じゅうが「なんなんだよー」というキモチになった

ニキ・リンコ「俺ルール！ - 自閉は急に止まらない」(花風社)

発達障害 と 二次障害

失敗経験の繰り返し



自尊感情、自己効力感の低下



学校生活、社会生活への適応を妨げる様々な問題

- 二次障害を起こさないための予防的な対応が重要

自閉症のある子どもへの支援のあり方

- できないことばかりに目を向けない
- 子どもの感覚・認知・言語・コミュニケーションのスタイルを理解し、支援につなげる
- ストレングスベース・アプローチ

ASDの人への支援のキーワード

SPELL (英国自閉症協会)

- 構造化: Structure
 - 肯定的な対応: Positive approach
 - 共感性: Empathy
 - 刺激の低減: Low arousal
 - 関係者の連携: Links
- 

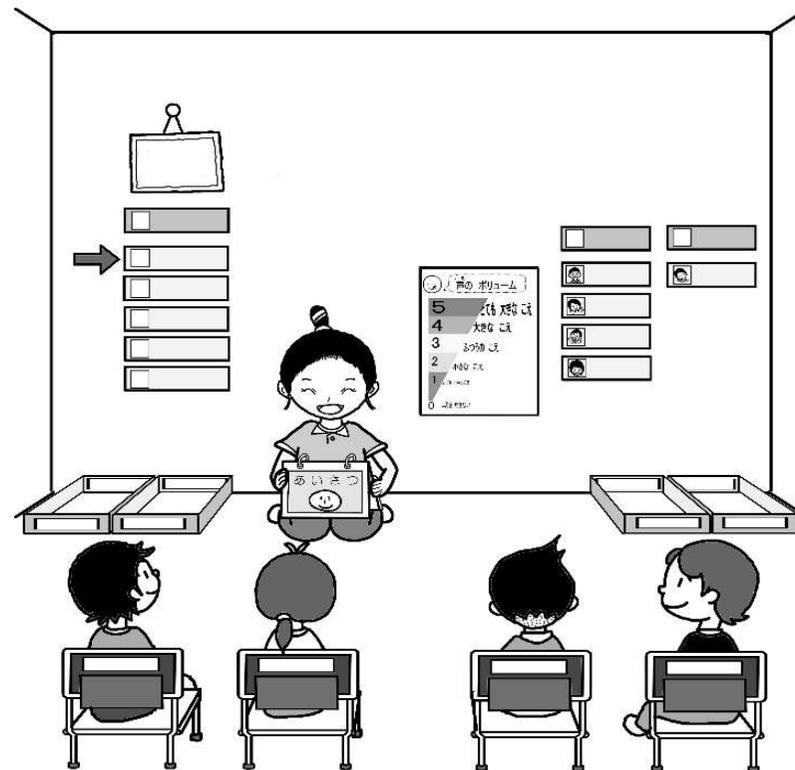
構造化による支援

- 見れば分かるように環境を整える
- 場面や展開への見通しを与える
- 具体的に曖昧さが無いよう伝える

効果的な情報の伝え方

- 図や絵などを使って情報を見て分かるように整理する
- 口頭だけでなく、書いて伝える

構造化と視覚支援を行った場面の例

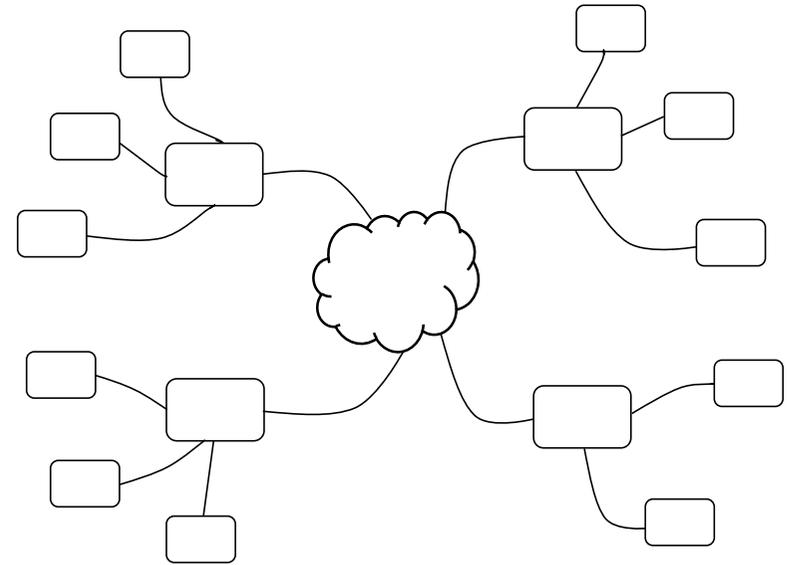
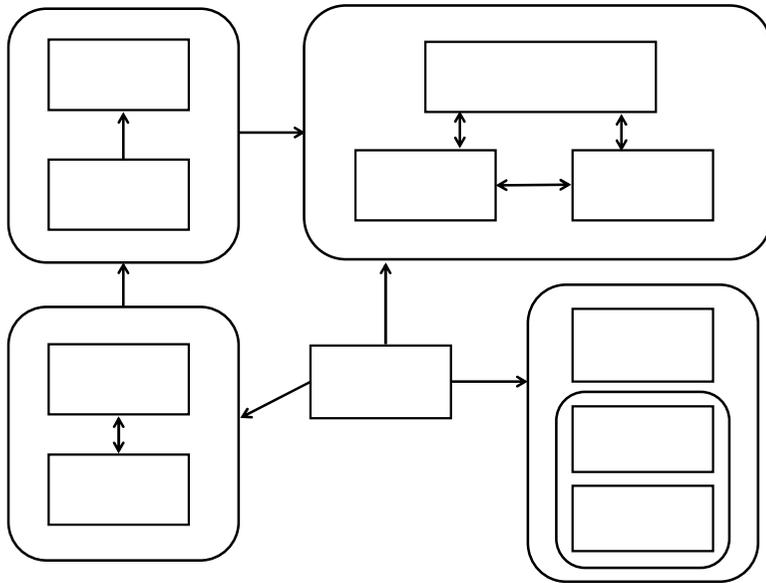


ASD児への作文指導の例

1. 体験したことを写真に撮る
2. 写真の中から書きたいものを選ぶ
3. 書きたい順に写真を並べる
4. 写真を文章化する

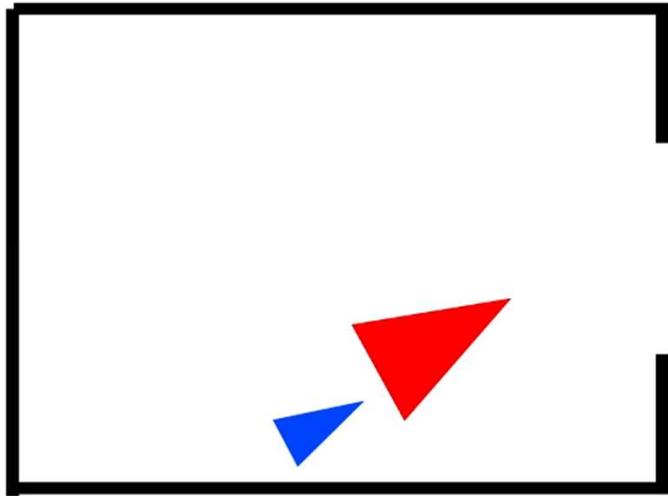
情報を取捨選択することを写真のような目に見える手がかりを使って支援すると書きやすくなる

KJ法やマインドマップの活用



設問形式の調整

- 自分の言葉で表現することが求められる自由回答形式（オープン・クエスチョン）は答えるのが難しい
- 特に「なぜ～なのですか？」「どうして～ですか？」のような問に答えるのが難しいことが多い
- 回答形式を選択式や穴埋め式（クローズド・クエスチョン）にすると答えやすくなる



自由回答の例

しかくの なかから さんかく でした。

選択肢の提示

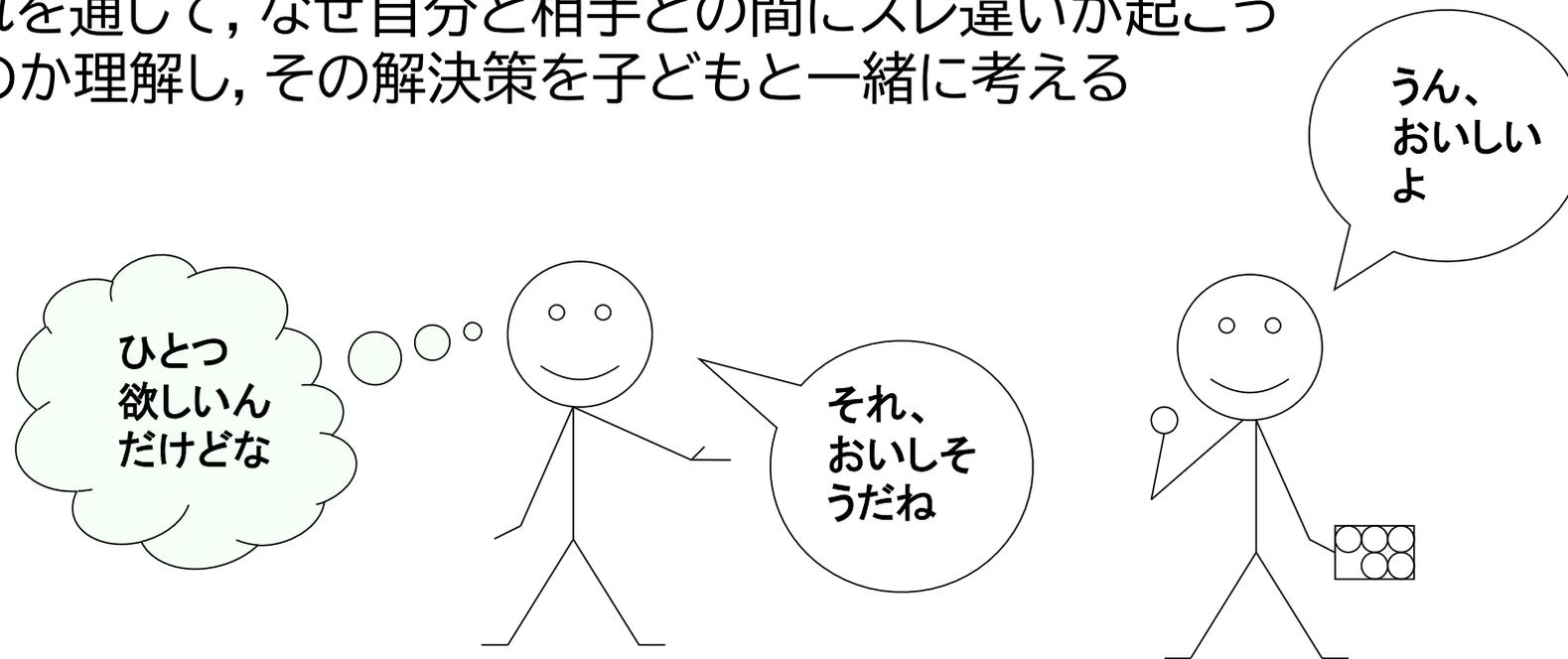
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
そして	ちいさいさんかく	は	とまった	そして	おおきいさんかく	は	まわった
それから	あおいさんかく	が	でなかった	それから	あかいさんかく	が	もどった
それで	こども		すこしうごいた	それで	おかあさん		ふりむいた
しかし			こわがった	すると			しんぱいした
ところが			さからった	だから			おこった

選択解答の例

おおきいさんかく と ちいさいさんかく は そとに おかった。
ところが ちいさいさんかくは こわがった。
すると おおきいさんかくが しんぱいした。
すると おおきいさんかくは いえにはいって ちいさいさんかくを
はげました。
そしておおきいさんかくが ちいさいさんかくを つんつんおした。
そして ちいさいさんかくが ゆっくりと そとへすすんだ。
それから ちいさいさんかくは おおきいさんかくと うれしそうに
かいてんした。

コミック会話

- 絵と吹き出しによって、自分や相手の気持や考えと実際にしたことや言ったこととの関係を示す
- それを通して、なぜ自分と相手との間にズレ違いが起こったのか理解し、その解決策を子どもと一緒に考える



ASD流の社会性の獲得

- 「人の心を読む能力には欠けているものの、しっかり観察する技術と論理的な分析によって、僕はその分を埋め合わせている」
- 「僕は10歳になるまで、他の子どもには僕のとまったく別の考えや感情があるとは気づかなかった」
- 「僕たちはゆっくりとソーシャルスキルを身につける。完全に使いこなすことはできないものの、ほとんどの人は何とかやっていける程度までにはそれを習得できる」

ジョン・エルダー・ロビンソン(著), 藤井良江(訳), 「変わり者でいこう:あるアスペルガー者の冒険」
(東京書籍)

読むことによる学び

- 「新しいことを学ぶのに一番いいやり方のひとつは、読書を通じて学ぶこと。」
- 「読んだとき、確かに一番よくものを覚える。」

ケネス・ホール(著), 野坂悦子(訳)「ぼくのアスペルガー症候群 – もっと知ってよ ぼくらのことを」(東京書籍)

- 「ASの人たちって、ほかの人がしゃべるのを注意して聞く時間が短いと思うんだ。その分、本から単語を仕入れることが多くなる」

ルーク・ジャクソン(著), ニキ・リンコ(訳)「青年期のアスペルガー症候群 – 仲間たちへ、まわりの人へ」(スペクトラム出版社)

ソーシャル・ストーリー

その場になさわしいやり方や物事のとらえ方、一般的な対応のしかたはどういうものかということをはまえて、状況や対応のしかたや場に応じた考え方を、特別に定義されたスタイルと文例によって説明する教育技術

キャロル・グレイ(著), 服巻智子(訳)「お母さんと先生が書くソーシャルストーリー™」(クリエイツかもがわ)

「がっこうって、どんなところ？」

がっこうは、たくさんの おともだちと いっしょに おべんきょうをするところです。がっこうでは、おべんきょうをしたり、みんなと いっしょにあそんだり、かかりのしごとをしたりして、たくさんの あたらしいことを おぼえます。がっこうの せんせいは、こどもたちが いろんなことを おぼえるための おてつだいをしてくれます。

わたしのいくがっこうには、たくさんの きょうしつがあります。きょうしつには、つくえといすが たくさん ならんでいます。マジックや がようしも、たくさん おいてあります。

わたしのいく がっこうには、ほかにも たくさんのものがおいてあります。おべんきょうの じかんわりひょうもあります。

特別な興味の観点からの支援の展望

- 病的な行動特徴として捉えられてきたASD者の特定の対象に対する強い興味は近年、「特別な興味」としてポジティブな側面にも目が向けられるようになった
- ASD児者の特別な興味は内発的な動機づけに基づいており、学習や対人関係の起点になる
- 溝上慎一の教育論 動画チャンネル『No169. 特別支援教育の学術的最前線－自閉スペクトラム症を多様なスタイルの1つと見なす』(<https://www.youtube.com/watch?v=GtbcbCoUAY4>)
をご閲覧ください